

OSAKA防衛防災フェスティバル

中部方面隊は、3月3日（日）、大阪防衛協会青年部会（会長 辻輝也氏）が主催した「OSAKA防衛・防災フェスティバル2019」を大阪市住之江区南港のATC（アジア太平洋トレードセンター）で支援した。

本行事は、近隣住民等に防衛や防災の意識を高めてもらうため、自衛隊の保有する装備品や訓練等を展示紹介する目的で行われた。

当日は、約1万人の来場者が訪れ、第15即応機動連隊保有の16式機動戦



多数の来場者で賑わった会場



方面総監統率方針
任務の完遂

発行所
中部方面隊総監部
広報室
072-728-0001
〒664-0012
兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1

闘車、海上自衛隊掃海母艦「ぶんご」、掃海艇「なおしま」及び航空自衛隊の「PAC-3」等多数の装備品等を展示した。また、音楽イベントやビル屋上からのレンジャー隊員によるロープを使用した降下訓練、隊員との懇談、ドローン・ネイルアート体験等のアトラクションにより、来場者は、日曜日のひとときを楽しんだ。奈良県から訪れた、岩屋将太郎君（小4）は、「阪神基地隊から体験航海「ぶんご」でフェスティバル会場に着艦し、大好きな自衛隊装備品や隊員達と触れることができ、とても楽しかったです」と感想を述べてくれた。



レンジャー隊員によるビルからの降下訓練

約1万人の来場者で賑わう



約2千名の隊員に訓示を述べる防衛大臣

岩屋防衛大臣初度視察（善通寺）

中部方面隊（第14旅団）は、3月24日（日）、善通寺駐屯地において、岩屋防衛大臣の初度視察を受けた。

防衛大臣は、顕花・黙禱を捧げ、儀仗隊による出迎えを受けた後、第14旅団長（小和瀬将補）による状況報告により部隊改編後の機動旅団としての戦力化の状況等を把握した。施設等の巡視では、即応機動連隊の新隊舎を視察、その後、乃木館を訪れて、部隊の歴史と伝統が引き継がれていることを確認した。

また、16式機動戦闘車の機動展示では、防衛大臣自ら車長席に乗り、機動性能を体感された。

視察終了後、機動旅団改編2年目を迎える隊員約2千名に対し、平成30年7月豪雨での災害派遣の慰労と機動旅団のパイオニアとしての自覚を保持していくよう訓示され、視察を終了した。

方面隊航空科合同訓練



空中機動による卸下訓練

協同部隊の練度向上を図る

中部方面航空隊（隊長 森1佐）は、3月5日（水）から8日（金）までの間、平成30年度方面隊航空科合同訓練を、青野ヶ原演習場及び同周辺空域等で担任・実施した。

訓練開始式で担任官は、協同能力の向上、基礎となる部隊以下の練度向上、安全確保の3点を要望し、「30年度の訓練の集大成となるよう務めよ」と述べた。

3日間の訓練を通じて、普通科部隊と協同したヘリボン機動や搭載卸下、衛生隊との協同、航空操縦技能、整備技能、炊事、車両運行、管制気象技能といった様々な技量や各種協同要領の練度を向上させた。

平成30年度総括の実射射撃

第10師団 師団射撃競技会 (小火器射撃)

第10師団 (師団長 甲斐陸将) は、3月13日 (水) から17日 (日) までの間、あいち野演習場 (滋賀県) において、師団射撃競技会を実施した。

本競技会は、抽選により選考された隊員が、2種類の射撃部門に分かれ、至近距離射撃 (団体・個人)、小隊戦闘射撃 (連隊・中隊・小隊) でそれぞれ実力を競った。

各部隊は、日頃の訓練の成果を十分に発揮して部隊の名誉のため全力で射撃に臨んだ。結果は次の通り。

- 至近距離射撃団体の部 優勝 第33普通科連隊
- 至近距離射撃個人の部 優勝 第10通信大隊 勝間田1曹
- 小隊戦闘射撃連隊対抗の部 優勝 第35普通科連隊 4中隊
- 小隊戦闘射撃中隊対抗の部 優勝 第33普通科連隊 2中隊 鶴間小隊



小隊戦闘射撃

第14旅団 旅団射撃競技会 (81ミリ迫撃砲)

第14旅団 (旅団長 小和瀬将補) は、2月23日から27日までの間、あいち野演習場 (滋賀県) において、旅団81ミリ迫撃砲射撃競技会を実施した。

本競技会は、第15即応機動連隊及び第50普通科連隊の各中隊迫撃砲小隊が部隊の威信をかけ、射撃陣地占領から陣地変換を伴う逆襲支援射撃等の状況下で行われた。結果は、連隊対抗の部、第15即応機動連隊、中隊対抗の部では、同第3普通科中隊がそれぞれ優勝した。



81mm迫撃砲射撃競技会

方面隊衛生科集合訓練

部隊の戦傷治療能力を向上

中部方面衛生隊 (隊長 抱1佐) は、3月5日 (火) から8日 (金) までの間、平成30年度方面隊衛生科集合訓練を青野ヶ原演習場等において担任・実施した。本訓練は、方面隊の衛生科隊員に対し、戦傷治療能力の向上及び衛生科技術の向上を図る目的で実施された。

訓練開始式では、衛生隊長が「目的意識を持って」と訓示し、訓練参加者は、航空機による患者の搭載・御下、第一線救護による人体シミュレータを用いた緊急救命行為、応急治療及び初期外科手術等を演練した。



総監視察



第一線救護訓練

総監は、3月6日 (水) 久代訓練場において、第一線救護の訓練を視察し、状況下 (戦闘中) で負傷隊員を救助し、素早く応急処置を行う動作を確認された。視察終了後、「第一線救護の困難性を正に肌感覚で感じることが重要。今後、方面隊連・群長集合訓練等における展示等により、成果の普及に努めてもらいたい」と述べ、視察を終了した。

第2回上級曹長集合訓練

総監企図を徹底

中部方面総監部は、3月12日 (火) 及び13日 (水)、伊丹駐屯地において、第2回上級曹長集合訓練を実施した。本訓練は、各隷下部隊の最上級曹長等が部隊の現状、問題点等について討議して、今後の業務の資とする目的で実施された。期間中、総監、防衛副長、在日米陸軍最上級曹長及び前中方最上級曹長菊元氏による講話が企画され、最上級曹長として保持すべき意識及び識能を向上させると共に、服務施策に関する討議を通じて隊員の内的規範を向上させる今後の具体策を共有した。



服務施策に関する討議

心理幹部等集合訓練 (伊丹)

陸幕・方面隊のメンタルヘルス施策等を周知

中部方面総監部は、3月4日 (月) から6日 (水) までの間、伊丹駐屯地において心理幹部等集合訓練を実施した。本訓練では、方面管内心理幹部等20名に対し、陸幕・方面内のメンタルヘルス施策を徹底した。また、平成30年7月豪雨及び愛知・岐阜で発生した豚コレラの両災害派遣のメンタルヘルスに関する教訓等について、各部隊ごとの体験を追い体験するとともに教訓を共有した。



14旅団心理幹部による事例紹介



防衛大臣より1級賞状を受けとる総監

中部方面総監は、3月6日(水)、平成30年7月豪雨に際し、被災地へ迅速に進出し人命救助や行方不明者捜索及び入浴支援等被災者に寄り添った生活支援を真摯に実施し、民生の安定に寄与した功績により、防衛大臣より1級賞状を受賞した。

一級賞状受賞

中部方面隊災害派遣部隊
共同部隊・同支援部隊

総監部隊視察 (鯖江・富山・久居駐屯地)



全ての部隊視察を終え花束贈呈を受ける総監 (久居駐屯地)

中部方面総監は、2月27日(木)及び3月12日(火)に鯖江・富山・久居駐屯地をそれぞれ視察した。各部隊等において主要幹部と懇談した総監は、部隊の抱える懸案事項等を把握するとともに、自らの統率方針及び各部隊等の特性に基づき、要望事項について徹底を図った。総監は、着任以降、精力的に実施してきた各部隊(58コ)の視察を久居駐屯地を最後にすべて終了した。

直轄部隊長・異動部隊長等を表彰

中部方面総監部は、7月豪雨災害派遣等での功労者46名、30部隊実働功労者2名、職務遂行功績のあつた直轄部隊長・異動部隊長10名、総監部勤務者58名を、それぞれ表彰した。



表彰

中部方面総監部は、3月4日(月)、在阪社会・報道部長会(勉強会及び意見交換会)を大阪新阪急ホテル(大阪市北区)において実施した。報道各社からは、大阪に所在する主要な報道機関の社会・報道部長等13名が出席され、自衛隊からは、総監をはじめ、近畿地区に所在する部隊長等が参加した。勉強会では、社会・報道部長等に対し、総監部人事部長(山本一佐)が講師となり、「女性活躍推進への取組み」を演題として、中部方面隊の今後の施策等について説明した。後段は、各参加者との意見交換会を行い、中部方面隊に対する各種施策に対する理解の促進を図った。

在阪社会・報道部長会



人事部長(山本1佐)による講話

参議院外交防衛委員会 部隊訪問



総監部は、2月26日(火)伊丹駐屯地において、参議院外交防衛委員長渡邊議員以下10名による視察を受けた。参議院議員団は、儀仗による出迎を受け、その後、幕僚長より、あいば野演習場における迫撃砲弾による事故の概要説明を受け、中部方面隊が、再発防止策を徹底していることを理解した。

入隊・入校予定者を激励

平成31年度中部方面隊からの入隊・入校予定者は合計約3千名を数え、それぞれの教育で新たな人生の一步を踏み出すこととなる。



福井県入隊予定者激励会

各地方協力本部は、2月下旬から3月下旬かけ、平成31年度「入隊・入校予定者激励会」を各協力団体等の主催で実施した。

ふあみさぽ通信 (連載:第28回)

大久保駐屯地業務隊

大久保駐屯地は京都府南部(宇治市)に位置し、「奈良県全域及び京都府京田辺市以南」の家族支援施策を担任している。平成28年より「奈良県自衛隊家族会」及び「京都府自衛隊家族会京田辺地区会」との連携を開始した。

平成30年7月には大久保駐屯地において、京都府自衛隊家族会及び京都府自衛隊家族会京田辺地区会、京都府隊友会の各会長、京都府所在の各駐屯地(大久保・福知山・桂・宇治)及び方面総監部家族支援担当者とともに、今後の京都府における家族支援の進め方について意見交換を行った。

また、同年10月の、「南海レスキュー30」に併せて奈良県及び京田辺地区の両家族会と安否確認訓練を実施した。更に、家族会の会勢拡大につながる独自の取り組みとして、平成30年度自衛官候補生教育修了式の記念会食において、新隊員とその家族に対して家族支援施策と家族会に関する説明及び加入の勧めを行い、11名の家族会新規加入者を得た。



家族会と隊員家族の顔合わせの様子



家族会会員への説明会の様子

私が平成30年8月に第8高射特科群第308高射搬送通信中隊長を拝命し、早や8か月が過ぎました。

高射搬送通信中隊は、群本部と各高射中隊との間に多重通信網を構成・維持・運営することを主たる任務とし、これを達成するために「創造と前進」を要事項として日々隊務に励んでいます。

さて、今や著しく日々発展するコンピュータやネットワーク等に関する技術(情報技術・IT)を一部の専門的知識をもったシステム職員の隊員が扱うのではなく、通信科隊員が、今までの識能に加え、情報技術に関する知識を理解・修得し、リアルタイム性の高い通信及びシステム接続、迅速な大容量の通信を確保し安全に提供するため、通信科はシステム通信科へ移行し特技の再整理を行うおとするなか、中隊又は隊員として、今までの固定概念に固執することなく、柔軟な発想のもと今何が必要かを適切に見極め「創造(力)」をもって新たなものを創り出し、中隊・隊員の能力を前へ前へと「前進」させていかなければなりません。そのため、創隊以来40数年にわたる諸先輩方が築き上げられた歴史と伝統を継承するとともに、「継続的な情報技術に関する教育訓練による識能の向上」、「あらゆる状況を想像して、今与えられている器材の最大限活用」を追求し飛躍していきたく思います。

俺を見る



群 第8高射特科
搬送通信中隊長
(青野原駐屯地)
1等陸尉 延原 光秋

「創造と前進」

千僧駐屯地が所在する兵庫県伊丹市は、大阪市内にも近く、また大阪国際空港(伊丹空港)がある街としても知られています。

当駐屯地では、毎週月曜日を麺の日とし、「ぼつてり鶏白湯ラーメン」、「昔ながらの中華そば」等、隊員に好評のメニューがいくつかあります。

その中で今回ご紹介したいのは、「ゆず塩ラーメン」です。このメニューは、隣の尼崎市に行列のできるラーメン屋があり、何とかこのラーメンを再現できないかと調理師と考案完成できたものです。

ラーメンに使用するだしは鶏がらとたまねぎを3時間以上煮込み、鶏がらを取り除いただしに、ストブの素とゆずの実(皮と絞り汁を三十分ほど煮込みます。この際、えぐみがでないよう沸騰させずにコトコト煮込むことがポイントで、おいしくなるようひと手間、ふた手間かけることが当駐屯地のこだわりでもあります。

この他にもご紹介したいメニューはまだあります。

千僧駐屯地にお越しの際は、ぜひこだわりの食事をお楽しみ下さい!

うちのご飯 「千僧駐屯地」



ゆず塩ラーメン

自己紹介をお願いします。



訓練中の鈴木士長
第10施設大隊本部管理中隊
渡河器材小隊架橋手
陸士長 鈴木咲妃



本人中央

おひらき★プレイヤー

出身地を教えてください。

宮城県黒川郡出身です。

入隊年と採用場所を教えてください。

平成29年に入隊、宮城地本にて採用されました。

自己PRをお願いします。

いつも前向き笑顔がモットーです。

現在の勤務について教えてください。

現職務を教えてください。

渡河器材小隊にて07式機動支援橋の架橋手としています。

魅力・やりがいを教えてください。

何も無い場所に自分達が架けた橋が通った時の達成感にとってもやりがいを感じています。

苦労したことを教えてください。

重い器材が多くその重さになれるのが大変でした。

そのほかの事を教えてください。

あなたが一番自信があることは何ですか。

どんな苦しいことでも前向きに考えられることです。

座右の銘があれば教えてください。

「親しき仲にも礼儀あり」です。

プライベートで今一番の関心事を教えてください。

車、選びます。

最近のマイブームを教えてください。

愛車のドライブとスノーボードです。

最後に一言。

これからも明るく元気に頑張ります。